

講義録レポート

講義録コード

37-20-0-401-01

講座	ビジネス会計検定講座	科目①	—
目標年		科目②	2級対策講座
		回数	1 回
コース	2級コース	通算回数	1
		用途	ビデオブース・集合DVD WEB通信・DL通信・DVD通信・資料通信

講師名	庄司 直貴 先生	内 訳	板書 枚数	枚	※レポート 含まず
			補助レジュメ 枚数	枚	
			その他 ()	枚	

授業構成	講義 (前半56分)	
実施テスト	有 ・ (無)	
対応テスト	<ミニテスト>	
	<答練・演習>	
使用教材	●公式テキスト「ビジネス会計検定試験2級(第5版)」 P. ~ P.	
	●トレーニング(問題集) P. ~ P.	
	●その他 [] P. ~ P.	
配布教材	●教材(テキスト・問題集) ()	
	●補助レジュメ () 枚	講義録添付 (有・無)
	●その他 () 枚	講義録添付 (有・無)
備考	体験講義は講義前半のみを配信しております。	
	★必ずご登録ください★ TAC WEB SCHOOLのマイページは、全ての受講生の方にご登録いただく必要があります。ご登録方法は、ビジネス会計検定講座受講ガイドでご確認ください。インターネットから「TACの受講生サイト」で検索いただけます。	
	ビデオブース受講生の方へ 正確な講義時間につきましては、DVDケースの背表紙下に記載されていますので適宜ご確認ください。 (例) ①51 記載の場合、前半講義 51分 (答練・演習の場合は、解説もしくは事前講義 51分を表します) ~DVD・Web受講生各位~ 黒板を写すカメラのスイッチング(切替)は講師が行っている都合上、映像中に一部講師が画面に写らない場合もございますが、故障ではありません。音声及び本講義録をご参照の上ご受講ください。受講生の皆様にはご迷惑をおかけいたしまして申し訳ございません。	

この講義録の著作権は、TAC株式会社または権利者に帰属しており、当社に無断で複製、改変、転載、転用、インターネット上にアップロードする等の著作権を侵害する行為は法律によって禁止されております。

TACビジネス会計検定講座 (20S)

● はじめに

1. 使用教材

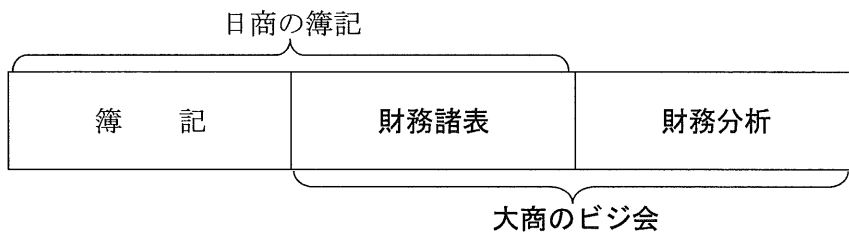
「ビジネス会計検定試験 公式テキスト 2級 (第5版)」(中央経済社)

「ビジネス会計検定試験 2級トレーニング」(TACの内部教材)

参考図書

「ビジネス会計検定試験 公式過去問題集 2級」(中央経済社)

2. 日商の簿記検定試験と大商のビジネス会計検定試験



3. 勉強の仕方

- (1) 講義前にテキストを読む。
 - (2) 講義を視聴する。
 - (3) 講義後にテキストを読む。
 - (4) トレーニングを解く。目標90%
 - (5) 全体をとおして、テキストを読む。
 - (6) 過去問題集。特に総合問題。目標80~85%
- } 講義ごとに
 } 講義終了後に

ビジネス会計検定試験 2級（第5版） 学習進度表

回数	学習範囲
第1回	<p>第1章 企業会計の意義と制度</p> <p>第1節 企業会計の役割</p> <p>第2節 企業会計の制度</p> <p>第2章 財務諸表</p> <p>第1節 財務諸表の種類</p> <p>第2節 連結の範囲</p> <p>第3節 連結財務諸表の作成方法</p> <p>第4節 連結財務諸表に特有の項目</p> <p>第5節 計算書の相互関係</p>
第2回	<p>第3章 貸借対照表</p> <p>第1節 連結貸借対照表とは</p> <p>第2節 資産とは</p> <p>第3節 負債とは</p> <p>第4節 純資産とは</p>
第3回	<p>第4章 損益計算書</p> <p>第1節 連結損益計算書とは</p> <p>第2節 損益計算書のルール</p> <p>第3節 売上総利益の計算</p> <p>第4節 営業利益の計算</p> <p>第5節 経常利益の計算</p> <p>第6節 税金等調整前当期純利益の計算</p> <p>第7節 当期純利益と親会社株主に帰属する当期純利益の計算</p> <p>第5章 連結包括利益計算書</p> <p>第1節 連結包括利益計算書とは</p> <p>第2節 包括利益の概念</p> <p>第3節 連結包括利益計算書の様式</p>

回数	学習範囲
第4回	<p>第6章 株主資本等変動計算書</p> <p>第1節 株主資本等変動計算書とは</p> <p>第2節 連結環として働く株主資本等変動計算書</p> <p>第3節 区分と記載内容</p> <p>第4節 株主資本等変動計算書情報の活用</p> <p>第7章 連結キャッシュ・フロー計算書</p> <p>第1節 連結キャッシュ・フロー計算書とは</p> <p>第2節 キャッシュの範囲</p> <p>第3節 連結キャッシュ・フロー計算書のしくみ</p> <p>第4節 連結キャッシュ・フロー計算書の表示方法</p> <p>第5節 営業活動によるキャッシュ・フロー</p> <p>第6節 投資活動によるキャッシュ・フロー</p> <p>第7節 財務活動によるキャッシュ・フロー</p> <p>第8節 キャッシュ・フロー循環</p>
第5回	<p>第8章 附属明細表と注記</p> <p>第1節 附属明細表とは</p> <p>第2節 附属明細表の種類と様式</p> <p>第3節 注記とは</p> <p>第4節 注記の内容と記載方法</p> <p>第5節 具体的な注記事項</p> <p>第9章 財務諸表分析</p> <p>第1節 財務諸表の構成要素と財務諸表分析</p> <p>第2節 基本分析～百分率財務諸表と時系列分析</p> <p>第3節 安全性の分析</p>
第6回	<p>第4節 収益性の分析</p> <p>第5節 キャッシュ・フローの分析</p>

回数	学 習 範 囲
第7回	第6節 セグメント情報の分析 第7節 連単倍率と規模倍率 第8節 損益分岐点分析～企業の採算性を探る
第8回	第9節 1株当たり分析～株式投資の視点 第10節 1人当たり分析 トレーニングの【総合問題】

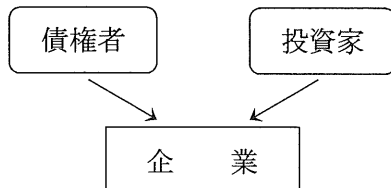
※1 学習進度は都合により変更されることがあります。

※2 第8回では、トレーニングを使用する予定です。ご用意ください。

第1章 企業会計の意義と制度

第1節 企業会計の役割

- 1 利害調整機能（成果配分支援機能）
- 2 投資判断情報提供機能（意思決定支援機能）



第2節 企業会計の制度

1. 金融商品取引法の会計制度 ←大きな会社が対象

金融商品取引法による財務諸表（連結の場合）

- ① 連結貸借対照表（B/S）
- ② 連結損益計算書（P/L）
- ③ 連結包括利益計算書 ← 連結のみ
- ④ 連結株主資本等変動計算書
- ⑤ 連結キャッシュ・フロー計算書
- ⑥ 連結附属明細表

※ 注記も必要です。

2. 会社法の会計制度 ←すべての会社が対象

会社法による計算書類（連結の場合）

- ① 連結貸借対照表
- ② 連結損益計算書
- ③ 連結株主資本等変動計算書
- ④ 連結注記表

※ 附属明細書もあります。